

【例題－獣医師 2】

豚の流産を引き起こす感染症に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. ブルセラ病の原因菌である *Brucella suis* は、経口感染し、交尾感染はしない。
2. 日本脳炎では、妊娠早期に流産を起こす例がほとんどである。
3. オーエスキー病の清浄化対策として、我が国ではワクチンが活用されている。
4. 豚繁殖・呼吸障害症候群では、胎盤を介した垂直感染は起こらない。
5. 豚パルボウイルス感染症は、有効なワクチンが存在せず、感染豚の淘汰以外には予防法がない。

(正答) 3